

校訓 「希望」「知性」「実践力」

学校の教育目標

「郷土を愛し、心豊かで心身共に逞しく、主体的に学ぶ実践力を身に付けた生徒の育成」

目指す学校像

- ・誰もが安心して学び合い、行きたい学校
- ・あいさつが響き合い、笑顔あふれる学校
- ・地域に貢献し、地域に愛される学校

目指す生徒は、

- ・主体的に学び、「気づき、考え、行動する」ことができる実践力のある生徒
- ・心身を鍛え、自他の良さを認め、支え高め合うことができる心豊かな生徒
- ・郷土への愛情と誇りをもち、地域に貢献できる生徒

目指す教師は、

- ・教育への誇りと情熱をもち、常に自己研鑽する向上心のある教師
- ・豊かな人間性と生徒への愛情をもち、生徒とのふれあいを大切にする教師
- ・常識と教養をもち、生徒・保護者の願いに応える信頼される教師

【教育課題】

- 確かな学力の定着ー学力の二極化、学ぶ意欲と主体性の低さ
- 心身の健康の増進ー心身の不安定な生徒の増加、不登校・集団不適応生徒の増加
- 人権意識の向上ー人権意識・人権感覚の希薄化、人間関係トラブルの増加

【経営課題】

- 組織運営上の課題ー経営ビジョンの共通認識と協働による分掌業務の適正化
- 教職員の課題ー教師力の向上（授業力・生徒指導力・人権認識・同僚性・協働性）
- 家庭・地域と連携した学校づくりー社会に開かれた学校・CS活動の推進

鍛えよう！ ほめよう！ 伸ばそう！

【重点目標】

自ら進んで学習に取り組み、自他を大切にできる生徒の育成

①「自ら進んで課題を見つけ、主体的に学習に取り組む生徒」

- ☆学力の向上と基礎・基本の定着→全国・県学力検査（全国・県平均以上）
- ☆授業規律・学習意欲の確立→学ぶ姿勢と聞く態度の徹底
- ☆家庭学習の定着と充実→個別最適な学び、協働的な学びへ向けてICTの効果的な活用、探究的な活動や交流活動の実践による自主的な学びの促進
- ☆生徒授業評価「わかった」「できた」→3.6p以上（R5年度は3.5P）
- ☆保護者評価「家庭学習の定着」→3.0p以上（R5年度は2.8P）

②「自他を認め、高め合う、心豊かな生徒」

- ☆学校・学級満足度の向上→QU「学級満足度」65%以上（今年度56%）
- ☆不登校生徒数60名以下、復帰率60%
（不登校出現率の抑制と復帰率の向上）
- ☆発達支持的生徒指導の推進→「自己指導能力の育成」
→自尊感情項目3.5P以上
生徒自己評価 3.5P以上（学校生活の基礎・基本）

③「郷土を愛し、積極的に地域に貢献できる生徒」

- ☆地域貢献活動・ボランティア活動の推進→「地域行事・地域貢献活動・ボランティア参加」90%以上（達成感・自己有用感の向上）
- ☆ボランティア部への参加率の向上

【経営の重点】

教師力の向上と組織運営体制による魅力ある学校づくり

■ 経営の重点Ⅰ 学力と教師力の向上を図る組織運営

- 学校経営ビジョン・重点目標の共有と実践（チーム西中）
- 組織運営体制の充実ー目標達成に向けた分掌横断的な協働と実践
- 学力向上に向けてー授業改善の取組・ICTの効果的な活用
- 生徒と教師のウェルビーイング実現のための働き方改革（意識改革等）
- 特別支援教育の充実

■ 経営の重点Ⅱ 豊かな心と体を育成する組織運営

- 生徒理解と教職員の組織的・効果的な発達支持的生徒指導の充実
- いじめへの対応ー早期発見、解決に向けた組織的対応・取組の徹底
- 不登校問題への対応ー関係機関と連携した不登校生徒への取組強化
- 豊かな心の育成ー道徳教育の充実、いとしま学・起業家教育の充実

■ 経営の重点Ⅲ 小中連携、コミュニティ・スクールの推進

- 地域連携とコミュニティ・スクールの推進、校区事業の取組の充実